

ほかんけんだより



新型コロナウイルス検査の最前線～大量検体に対しても迅速に～

福岡市保健環境研究所では、令和2年1月末から新型コロナウイルスの検査を行っています。発生当初は**市内唯一の検査機関**として検査を一手に引き受け、民間での検査が開始された5月以降は濃厚接触者等の検査を行い、クラスター発生等に伴う緊急の検査依頼にも対応してきました。

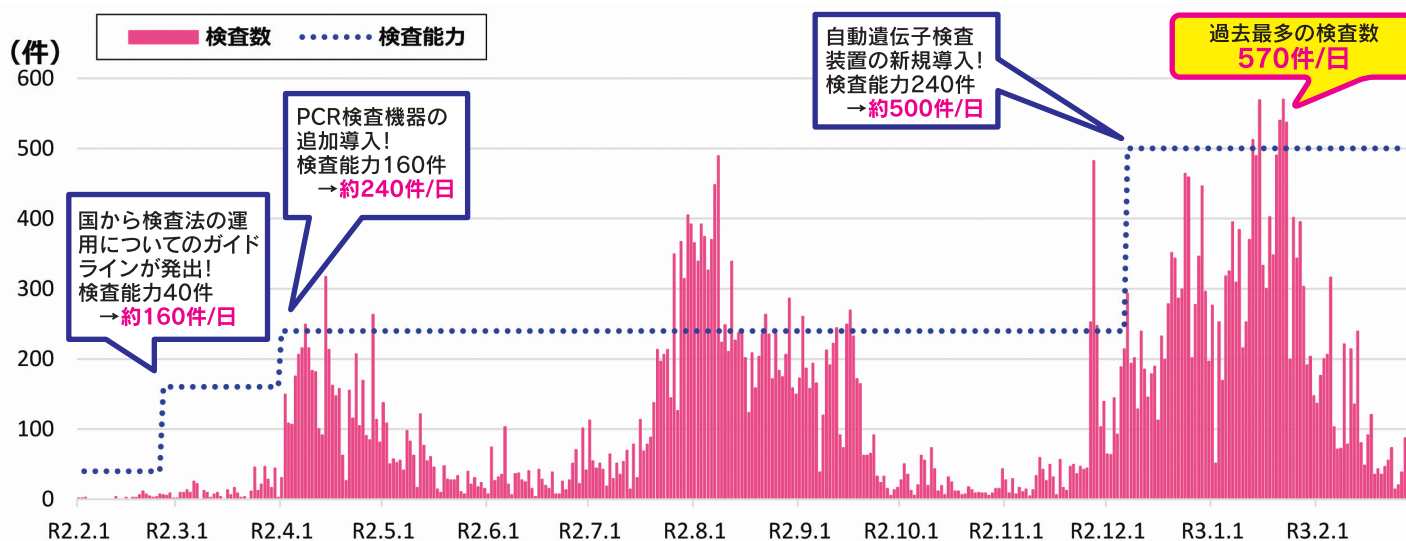
市民のために365日、1日も休むことなく検査を続けています。

検査能力の拡充

これまでに**約4万8千検体**の検査を行いました(令和3年3月末現在)。感染拡大に伴って検査依頼数が増える中、所外の職員の協力や機器整備、検査の工夫などにより検査能力を拡充しました。



自動遺伝子検査装置



保健環境研究所における検査数

検査の工夫と効率化 その1

危機管理チーム「コロナ」の結成

12月以降の急激な感染拡大に対応するため、所内横断的な**危機管理チーム「コロナ」**を立ち上げ、日々の検査計画作成や効率的な検査のための様々な工夫を行いました。その結果、大幅に検査数が増加したにもかかわらず、結成前と比べて少ない人数で迅速に検査をすることができました。



チャット活用で時間短縮



市内7保健所から大量の検査や資材提供依頼があるため、庁内チャットを使用して、検査日程・予定数等の「**連絡調整**」を行いました。電話からチャットに変更したことにより、検査を中断して電話対応をすることがなくなったため、時間が大幅に削減され、情報がより正確に把握できるようになりました。

新型コロナウイルスの変異株の問題と検査体制

変異株ってなに？

変異とは、生物やウイルスの遺伝子情報が変化することです。一般的に、ウイルスは流行していく中で少しずつ変異をおこしていきます。この変異したウイルスが変異株です。新型コロナウイルスについても、約2週間に1箇所程度の速度で変異していると考えられています。

何が問題なの？

新型コロナウイルスの変異株では、**感染しやすい、重症化しやすい、ワクチンが効きにくい等の可能性**が懸念されます。この変異株が流行した場合には、これまで以上の患者数や重症者数の増加に繋がり、医療体制を急速に圧迫するおそれがあります。

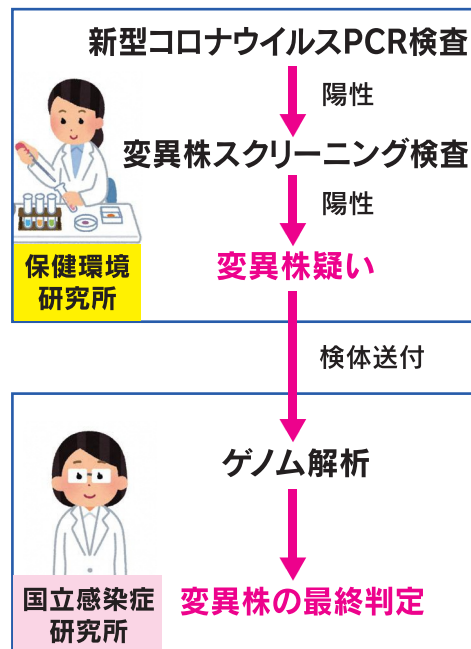
変異株への感染予防はどうすればいいの？

変異株への感染予防のためには、三密を避け、マスクの着用や手洗い、換気、消毒など基本的な対策の徹底がこれまでと同様に有効です。

変異株への感染予防はどうすればいいの？

保健環境研究所では変異株のスクリーニング検査を行っています。スクリーニング検査で陽性の検体は国立感染症研究所でゲノム解析を実施し、最終判定を行います。国と連携して市内の変異株感染者を早期に発見し、感染拡大を抑制するための体制を整えています。

従来の新型コロナウイルス検査に加え、変異株のスクリーニング検査も行うため、業務の効率化に努めています。



検査の工夫と効率化 その2

わかりやすい予定共有

事務室の「ホワイトボード」を整理し、週単位の検査予定数まで見える化しました。



すきま時間でコツコツ準備

スムーズな検査のために反応時間などを活用して、以下のような様々な準備を行っています。

- 数種類の資材に検体番号を記入・シールを貼付する
- 試薬を作製し、1検体ごとに小分けする 等

これらの検査用品は検査のたびに消費するため、検査依頼数に応じて不足することがないように準備しています。



保健環境研究所では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、ゲノムネットワーク解析(遺伝子情報と発生状況との関連性を解析)などを行うとともに、新たな感染症パンデミックに備えるため、知識や技術向上の取り組みを行っています。

編集・発行 福岡市保健環境研究所

〒810-0065 福岡市中央区地行浜2丁目1-34
TEL : 092-831-0660 FAX : 092-831-0726
E-mail : hokanken.EB@city.fukuoka.lg.jp
URL : <https://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/hokanken/>



ホームページも
ぜひご覧ください♪

